

## 課題文 2021

- ① 最も大きな問題に関して十全に優雅に、豊かな魅力的な文体で述べることができるものが完全な哲学だと、私はつねに考えてきた。

キケロ『トゥスクルム荘対談集』

- ② 私は、自分が身体をもたず、世界というものも存在せず、私のいる場所というのものない、と仮想することはできるが、だからといって、私が存在しない、とは仮想することができず、それどころか反対に、私が他の者の真理性を疑おうと考えること自体から、きわめて明証的に、きわめて確実に、私が存在するということが帰結する。逆にまた、もし私がただ考えることだけをやめたとしたら、たとえそれまで私が想像したすべての他のものが真であったとしても、だからといって私がある間存在していた、と信じるべきどんな理由もない。

ルネ・デカルト『方法序説』

- ③ 人が信じているものとは、自分がそれに依拠して行為する用意のある命題である。

C. S. パース『連続性の哲学』

- ④ 倉廩みちてすなわち礼節を知り、衣食たりて則ち榮辱を知る。

『管子』

## 哲学エッセイを書くにあたって

哲学エッセイは、学校でよく課題に出るいわゆる「生活作文」（生活の中で体験したことについて自分が感じたこと、考えたことを書くもの）ではありません。そうではなく、ある問題やテーマに関して、自分なりに問いを立て、様々な角度から考察し、筋道立てて書くものです。評価のさいには以下のような点が重視されます。

- ・ 選んだ課題文に含まれるテーマや問題とどれくらい向き合っているか。
- ・ そのテーマや問題についてどれくらい深く考え、理解しているか。
- ・ 自ら問いを設定し、それに答えるべく論じ、結論を出しているか。
- ・ 主張や意見を述べるさい、なぜそう言えるのか、明確な理由を挙げているか。
- ・ 具体的で分かりやすく、説得力のある首尾一貫した論述になっているか。
- ・ 反対の立場も検討しつつ、自分の立場をはっきりさせて論じているか。
- ・ 自分なりの論点や考えを含んだ個性的なエッセイになっているか。

こんなことを言われても、実際にはどうすればいいのか分からないかもしれませんし、これらのポイントをすべて満たすなんて無理でしょう。でも、書きながら迷い、悩んでください。それでもチャレンジするのが大事です。